



分散登校が始まりました

赴任して一ヶ月以上が経過した今週月曜日、初めての朝の交通指導に立ちました。橋のたもと横断歩道で黄色の交通指導の旗を持って子どもたちを渡らせませす。

「おはようございます。」

「おはようございます。」

鴛野の子どもたちは、どの子も本当によくあいさつをします。そして、どの子も素敵なマスクをしていました。お家の方の愛情が透けて見える様で、こちらも何だかうれしくなりました。

子どもたちは靴箱に靴を入れた後、間隔を開けて整列。手指の消毒をした後、教室に行くようにしています。

授業の様子も見てまわりました。鴛野小学校は地区別の分散登校ですので、各学級の人数は正確に半分というわけではありません。しかし、ほぼ下の写真のように子どもと子どもの間は、かなり空いた状態です。

私も子どもたちの顔を見て改めて鴛野小学校に転任してきたんだなと感じました。

この後、子どもたちは給食を食べて帰宅。給食は簡易的なものですが調理員さんたちが安心・安全に気をつけて調理したものでした。このような分散登校が5月中に一人の子どもに対し4日行われます。そして、6月から本格的な登校に移行する予定です。(もちろん、状況に応じては急な変更もありえます。)



トイレ待ちもソーシャルディスタンス

トイレ前の廊下に右のように一定の間隔を開けて足型を貼っています。ソーシャルディスタンスを意識してトイレ待ちをしましょうとの足型です。

このように校舎内には「蜜」を避けるためにいろいろな工夫がなされました。

そして、ソーシャルディスタンスを呼びかける掲示物には話題の妖怪アマビエも登場しました。

トイレ



アマビエとは江戸時代に熊本県に現れたといわれている妖怪です。疫病が流行したら自分の姿を人々に見せよと告げたと伝えられています。

左は無料イラストサイトの「イラストや」のアマビエですが、江戸時代の文書に残っているアマビエは左下です。こちらも結構かわいいですね。

関係のない話が長くなってしまいました。このように鴛野小学校では子どもたちの安心・安全のために様々な対策をとっています。

保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



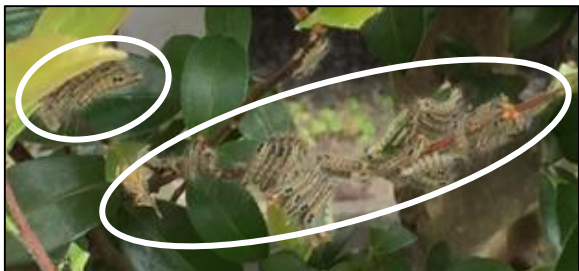
ただいま、学級担任を通じて、ゆるキャラの名前を募集しています。応募を待っています。

また、ペーパーチャレランの受付もしています。どうぞ担任の先生に出してください。

鴛野小学校要注意生物・続報！

「鴛野小通信」4号に「鴛野小要注意生物」と題していくつかの危険生物を載せましたところ、早速、見つかりました。

ひとつは、チャドクガの幼虫です。数カ所のサザンカに見つかりましたので殺虫剤を吹きかけ駆除しました。敷地内のサザンカの消毒も依頼中です。



*白黒印刷ではわかりにくいかもしれませんが、白枠の円の中です。

もうひとつの危険生物、いや植物の名はメリケントキンソウ。育成の先生から聞くまでは、この植物のことは全く知りませんでした。実際に育成前の広場に行ってみました。クローバーなどの背丈の低い草が生えているだけです。ためしに手の平で植物を押さえつけてみても何も感じません。しかし、3、4回目、チクツとした痛みを感じました。それも、結構な痛みです。バラのトゲが刺さったようでした。そこにあったのが下の写真のメリケントキンソウです。



約2ミリの鋭いトゲが隠れています。

このメリケントキンソウ、少し前から全国で問題になっているようで注意喚起をしている自治体も多いようです。大分県や大分市もホームページに注意喚起をしていました。（右上の文書は大分市のホームページからの引用です。）恥ずかしながら前述のように私は全く知りませんでした。

本来であれば、右上の資料にも書いてるように3月か4月上旬に抜き取るか刈り取るとよかったですのですが、もう後の祭りです。そこで、根元付近から刈り取ること

メリケントキンソウ（キク科植物）

※法令による特定外来生物等の指定はありません。

【説明】

メリケントキンソウ(*Soliva sessilis* Ruiz.et Pav.)とは、南米原産のキク科の1年草です。全高は5cm程度で、地をほうように生えます。4月から5月ごろに花を咲かせ、6月から7月ごろにかけ約2mm程度のトゲのある堅い実をつけます。繁殖力が強く、公園、芝生、道路脇などの日当たりのよい場所に生息し、現在では全国各地に生息しています。

【人体に関わる被害】

約2mmの堅い実にとげがありますので、手に触れたり裸足で歩くなどした場合、そのトゲが刺さりケガをすることがあります。また、靴で踏むと、靴底にとげが刺さったまま移動することになり、本人の意思に関わらず生息域を拡大させてしまう場合があります。メリケントキンソウに毒はありません。

【駆除方法】

手作業での抜き取り、刈り払いのほか、可能な場所では薬剤などによる駆除方法があります。開花時期(4月から5月)前の駆除が効果的と思われます。抜き取り、刈り取りで駆除した後は拡散しないように袋で密封し、燃やすごみとして処理していただきますようご協力をお願いします。

にしました。刈払機の先がチップソー（金属製の刃物）ではなくナイロンカッター（ナイロン製のロープ）のものを使用してメリケントキンソウを根本から刈り取りました。そのビフォーアフターが下の写真です。先にも書きましたが本来であれば3月か4月上旬に刈り取る方がよいようです。



*メリケントキンソウ名前の由来
メリケン…「アメリカン」の古い言い方
トキンソウ…漢字では「吐金草」と書きます。花をつぶすと黄色の種が出てくるので、こう呼ばれたそうです。



実際に刈り取りをしてみてもわかったことは育成前の広場全面に生えているわけではないということです。特定の部分に集中して生えていました。今後も注意が必要なことは間違いありません。